

NSCAジャパン認定校 米国NSCA ERP 申請手続きの手順

2023年度

特定非営利活動法人NSCAジャパン



NSCAジャパン認定校の申請条件①

【NSCA-CPT認定校】

条件「1」または「2及び3」を満たすこと

1. 学校教育法が定める大学又は短期大学であること
2. 学校教育法が定める専修学校で、同法に規定する専門課程（修業年限が2年以上）を設置していること
3. 設置認可書類の写しを提出すること

NSCAジャパン認定校の申請条件①

【CSCS認定校】

条件「1」または「2及び3」を満たすこと

1. 学校教育法が定める大学であること
2. 学校教育法が定める専修学校で、文部科学大臣により指定された「高度専門士の称号を付与することを認められた課程」（注）を設置していること
3. 設置認可証の写しを提出すること

注）以下の要件を満たすと文部科学大臣が認めるものを修了した者は、高度専門士と称することができる（*）

- ① 修業年限4年以上
- ② 総授業時数3,400時間以上
- ③ 体系的な教育課程の編成
- ④ 試験等による成績評価に基づく課程修了

* 平成 17 年 9 月 9 日文部科学省告示第 139 号 第3条

NSCAジャパン認定校の申請条件②

【プログラム管理者】

認定教育プログラムを開講する上で、以下に示す教職員（プログラム管理者）を配置する必要があります。

A) プログラムディレクター

PROGRAM DIRECTOR

B) 認定教育プログラム担当主任教員

CSCS/NSCA-CPT SPONSOR

NSCA-CPT認定校：NSCA-CPTまたはCSCSを持つ常勤の教員

CSCS認定校：CSCSを持つ常勤の教員

C) 教育スタッフ

TEACHING FACULTY

NSCAジャパン認定校の申請条件②

A) プログラムディレクター (PROGRAM DIRECTOR)

- プログラムディレクターは、**学内のプログラム運営の総責任者**であり、すべてのルールや規制条件が厳守され、プログラム全体が承認基準に準ずるように監督する管理スタッフです。
- プログラムディレクターは、**常勤の教員でなければなりません**が、NSCA-CPT認定者またはCSCS認定者である必要はありません（**学部長または学科長が望ましい**）。

NSCAジャパン認定校の申請条件②

B) 認定教育プログラム担当主任教員（CSCS/NSCA-CPT SPONSOR）

認定教育プログラム担当主任教員は、常勤で雇用されているNSCA資格認定者（注）
でなければなりません。

（注） NSCA-CPT認定校の担当主任教員：NSCA-CPT認定者またはCSCS認定者
CSCS認定校の担当主任教員：CSCS認定者

認定教育プログラム担当主任教員は、認定教育プログラム全体が、その趣旨に沿って実施されるように監督しなければなりません。また、必要に応じて、プログラムディレクターに報告を行い、認定教育プログラムが確実に実施されるように改善しなければなりません。

NSCAジャパン認定校の申請条件②

C) 教育スタッフ (TEACHING FACULTY)

- 教育スタッフ**は、認定教育プログラムを実際に担当する教職員を指します。
- 教育スタッフ**は、常勤、非常勤の別を問いませんが、担当科目に適合した学歴、専門領域、資格等を有する必要があります。
- 実技科目 (注) を担当する教員**は、NSCA-CPT認定者またはCSCS認定者であることが必須条件です。

(注) NSCA-CPT認定校：「エクササイズ&レジスタンストレーニング技術と指導テクニック」

CSCS認定校：「レジスタンストレーニングとコンディショニング」

NSCAジャパン認定校の申請条件③

【認定教育プログラム】

認定教育プログラムは、カリキュラム表に掲載される正式な科目でなければならず、学校教育の一環として修学年を通して、特別認定試験の受験時までには修了するよう編成し、長期休業中や放課後等に一括して授業を実施しないよう計画しなければなりません。

必須カリキュラムの設定

- ・各科目が、単独クラスであることが望ましいです。
- ・1つの授業で複数の内容を取り扱う場合は、最大2科目までとします。
- ・授業時間数は、各科目10時間以上、実技科目は20時間以上、現場実習は40時間以上とします（1時間＝60分）。
- ・各クラスの評価基準はできる限り具体的に規定し、シラバスに明記しなければなりません。

NSCAジャパン認定校の申請条件③

【NSCA-CPT認定校必須カリキュラム】

- ・ 人体解剖学
- ・ 人体生理学
- ・ 運動科学／生理学
- ・ 栄養学（スポーツ栄養学を推奨）
- ・ パーソナルトレーニングの基礎
- ・ バイオメカニクス／身体動作／運動学
- ・ エクササイズ&レジスタンストレーニングの技術と指導テクニック（実技）
- ・ クライアントとの面談および体力評価
- ・ 緊急時の対応／パーソナルトレーニングにおける法的諸問題
- ・ 指導実習（インターンシップ）
- ・ 心理学／スポーツ心理学

NSCAジャパン認定校の申請条件③

【CSCS認定校必須カリキュラム】

- ・ 人体解剖学 & 生理学
- ・ 運動生理学
- ・ キネシオロジー & バイオメカニクス
- ・ 栄養学（スポーツ栄養学を推奨）
- ・ ストレングス & コンディショニングの科学的原則
- ・ レジスタンストレーニングとコンディショニング（実技）
- ・ エクササイズテクニック / 無酸素性エクササイズを中心とした運動処方
- ・ 緊急処置（応急処置、CPR/AED）
- ・ 指導実習（インターンシップ）
- ・ ストレングス & コンディショニングに関連したプログラムデザイン

NSCAジャパン認定校の申請条件④-1

【施設条件】

－必須条件－

- ・フロア耐荷重：488kg/m²以上（1階に施設が配置されている場合で、階下が無い場合は、耐荷重300kg/m²以上でも可とするが、機器の重量やプラットフォームの種類によっては検証が必要）
- ・天井の高さ：3.66m以上

－推奨条件－

- ・適切な冷暖房設備および換気が可能な環境の整備
- ・フロア面積：受講学生1名あたり10.0m²程度
- ・壁面鏡：スクワットラック前面に、床から50cm以上の高さに設置し、全身がうつることが推奨されます
- ・給水：利用者が水分補給できる機器（冷水器）または持参した飲料を飲むことができるスペースをトレーニングフロア内または隣接するエリアに設けることが推奨されます

NSCAジャパン認定校の申請条件④-2

【施設条件】 代替施設を申請する場合

- 学内のストレングス&コンディショニング施設が申請条件を満たしていない場合は、条件を満たしている代替施設を申請することができます。
- 代替施設を申請する場合は施設の利用を証明する契約書あるいは証明書等の提出が必要です。
- 代替施設を利用する場合も、機器の配置を含む、施設の平面図の提出が必要です。

NSCAジャパン認定校の申請条件④-3

【トレーニング機器1】

ー必須条件ー

- ・プラットフォームまたは緩衝用ラバー
- ・スクワットラック
- ・ベンチプレスラック・フラットベンチ（アジャスタブルベンチ）
- ・ダンベル1～20kg：1セット（10kg以上は2kg刻みでも可）
- ・オリンピックバー（スリーブ部φ50mm；20kg・15kg）：5名に1本
- ・バンパープレート（スリーブ部φ50mmバー用）：20・10・5kg、各2枚
- ・ラバープレート（スリーブ部φ50mmバー用）：20・10・5・2.5kg、各4枚
- ・カラー（2個1組、スリーブ部φ50mmバー用）：2セット

NSCAジャパン認定校の申請条件④-3

【レジスタンストレーニングエリア フリーウェイト1】 参考資料



多機能型パワーラック



木製プラットフォーム



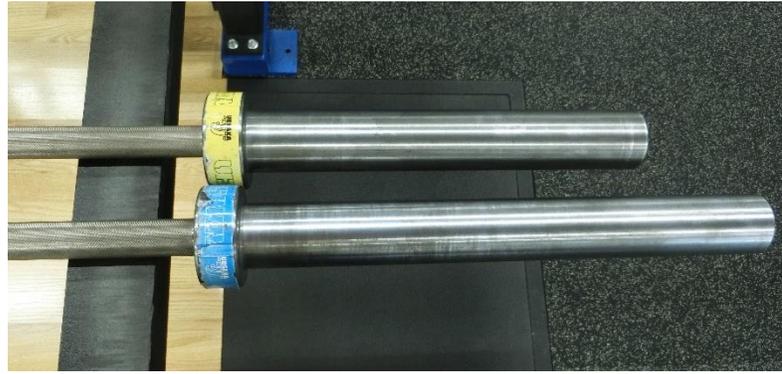
アジャスタブルベンチ

NSCAジャパン認定校の申請条件④-3

【レジスタンストレーニングエリア フリーウェイト2】 参考資料



シャフト各種



15kg

20kg



ウッドバー



ヘックスバー



EZバー



ケトルベル

NSCAジャパン認定校の申請条件④-3

【レジスタンストレーニングエリア フリーウェイト3】 参考資料



バンパープレート



ラバープレート



カラー

NSCAジャパン認定校の申請条件④-3

【トレーニング機器2】

－推奨条件－

マシン

- ・レッグプレス
- ・レッグエクステンション
- ・レッグカール
- ・ラットプルダウン
- ・マルチケーブルマシン

その他の機器

- ・プライオボックス
- ・ウッドバー
- ・ストレッチマット
- ・メディシンボール
- ・スタビリティボール
- ・バンド
- ・ストレッチポール

有酸素系エリア

- ・トレッドミル
- ・ステーションナリーバイク

測定エリア

- ・身長計、体重計、体脂肪計
- ・周径囲測定用メジャー

NSCAジャパン認定校の施設例



愛知東邦大学



仙台大学

提出書類①

【NSCAジャパン認定校申請書類 1】

1. NSCAジャパン認定校申請書（CSCS or NSCA-CPT）
2. 認定校教育プログラム編成表（必須カリキュラム） - 書式1
3. 担当教員略歴一覧表 - 書式2
4. プログラム開設学科等の学年別学生数 - 書式3
5. ストレングス&コンディショニング施設説明書 - 書式4
6. ストレングス&コンディショニング機器一覧 - 書式5
7. 契約施設一覧表 - 書式6 (※)
8. 契約施設の利用を証明する書類 (※)

※学外のトレーニング施設と使用契約を結んでいる場合のみ、ご提出ください。

提出書類①

【NSCAジャパン認定校申請書類 2】

9. 各科目のシラバス – 書式自由
10. ストレングス&コンディショニング施設の平面図（機器の配置を含む）
11. 学校の設置認可書類の写し（短大・大学は不要）
12. カリキュラム表

申請書、添付書類、ERP Applicationは、NSCAジャパンウェブサイトからダウンロードしてください。

https://www.nasca-japan.or.jp/03_educate/erp_guideline.html

提出書類②

【米国NSCA ERP 申請書類】

1. ERP Application（英文申請書）：1部

CSCS：Strength & Conditioning Program 申請書

NSCA-CPT：Personal Training Program 申請書

- ・申請書は、全てPCで入力してください。
- ・申請書最終ページの署名欄は、電子署名を付与してください。

2. 英文シラバス

必須カリキュラム各科目の英文シラバスをご用意ください。書式は自由です。

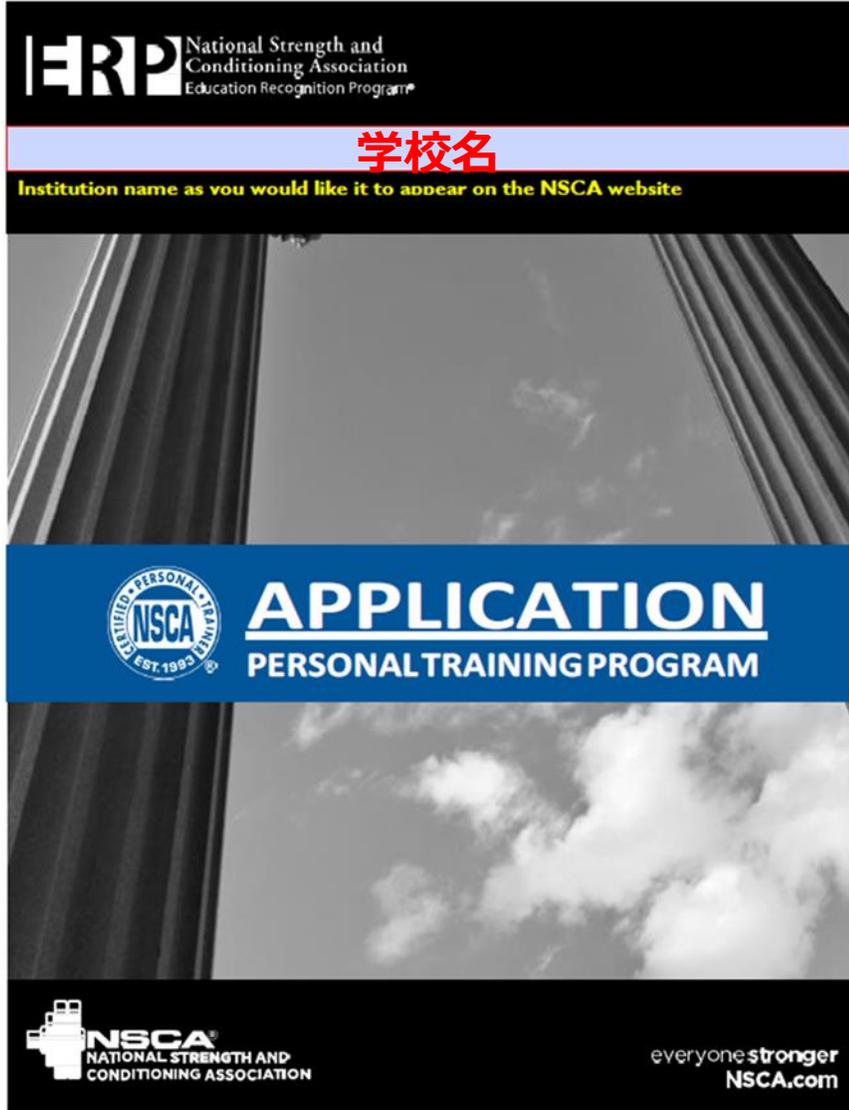
NSCAジャパンウェブサイト「認定校募集要項」ページに、シラバスの雛形を掲載していますので、貴校所定の書式がない場合はご利用ください。

申請書、添付書類、ERP Applicationは、NSCAジャパンウェブサイトからダウンロードしてください。

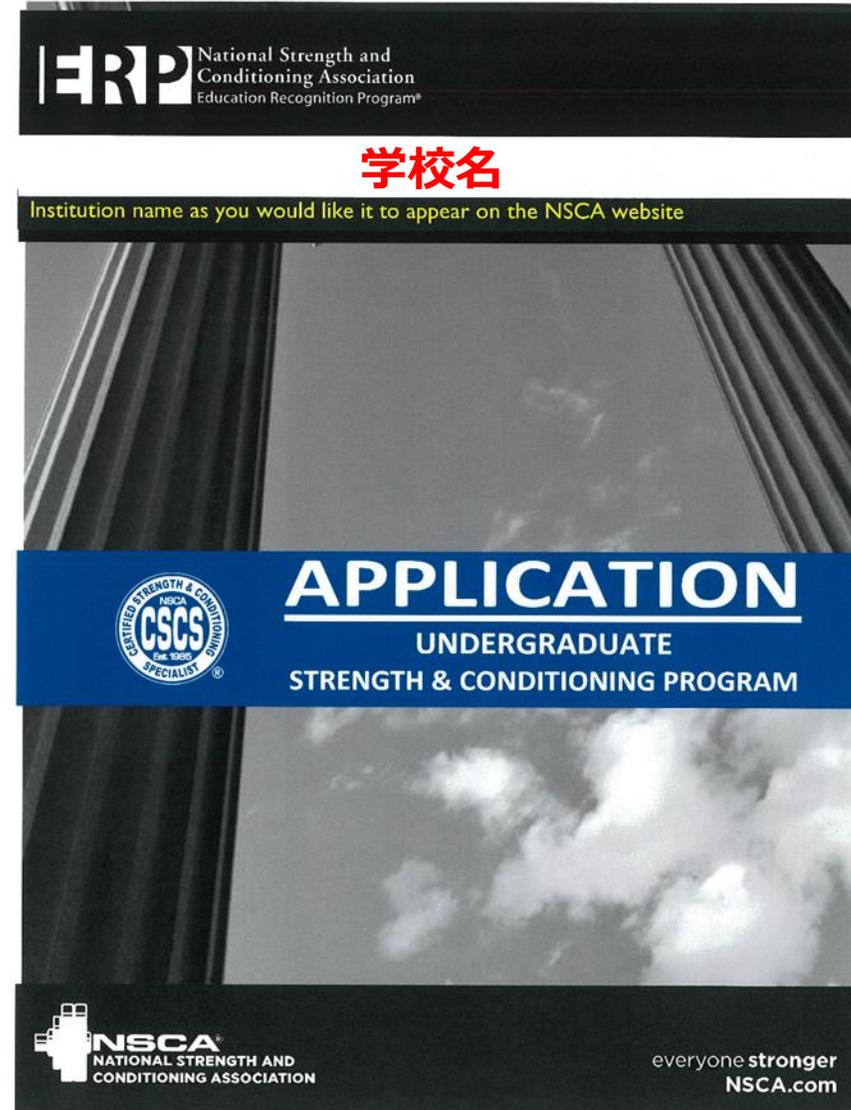
https://www.nsca-japan.or.jp/03_educate/erp_guideline.html

ERP Application

NSCA-CPT



CSCS



記入方法 “SECTION I”

SECTION I

INSTITUTIONAL INFORMATION | UNDERGRADUATE STRENGTH AND CONDITIONING

Official Name of Sponsoring Institution:

Department:

Address 1:

Address 2:

City: State: Postal Code: Country:

Please provide the URL to link from the NSCA website to your department webpage:

INSTITUTIONAL ACCREDITATION

Regional Accrediting Association Name: (If outside of United States, use international equivalent.)

Date of Last Accreditation:

Is the sponsoring institution legally authorized under applicable state law to provide post-secondary education?

- Yes 本プログラムを実施する機関（貴校）は、学校教育法に基づき、中等教育終了後の教育機関として認可されていますか？
- No 教育機関として認可されていますか？
- No applicable state law ⇒ “Yes”を選択してください

記入方法 “SECTION II” NSCA-CPT

NSCA-CPT

SECTION II (Cont'd)

PROGRAM DIRECTOR プログラムディレクター (プログラム責任者)

Name: Title:

Address 1:

Address 2:

City: State: Postal Code: Country:

Phone: Email:

Is the Program Director an NSCA Member? Yes No
If Yes, Please Provide Membership Number:

Is the Program Director a CSCS? Yes No
If Yes, Please Provide NSCA Certification Number:

CSCS or NSCA-CPT SPONSOR (if different from the Program Director) 認定プログラム担当主任教員

Name: Title:

Address 1:

Address 2:

City: State: Postal Code: Country:

Phone: Email:

Is the CSCS or NSCA-CPT Sponsor an NSCA Member? Yes No
If Yes, Please Provide Membership Number:

NSCA Certification Number:

Does the academic unit which houses the program employ a CSCS in a full-time academic/teaching position?
 Yes No 担当主任教員はERPプログラム実施校に常勤教職員として雇用されていますか?
⇒“Yes”を選択してください

Note: The CSCS sponsor must be a member of the teaching faculty and must be a full-time employee of the sponsoring institution involved in the educational program as a member of the teaching faculty.

プログラム責任者はNSCA会員またはNSCAジャパン会員ですか？

プログラム責任者はCSCS認定者ですか？

※プログラムディレクターと異なる場合のみ記入してください

担当主任教員はNSCA会員またはNSCAジャパン会員ですか？

担当主任教員はプログラム担当教官の一員であり、プログラム実施校の常勤教職員でなければなりません。

記入方法 “SECTION II” CSCS

CSCS

SECTION II (Cont'd)

PROGRAM DIRECTOR プログラムディレクター (プログラム責任者)

Name: Title:
Address 1:
Address 2:
City: State: Postal Code: Country:
Phone: Email:

プログラム責任者はNSCA会員またはNSCAジャパン会員ですか？

Is the Program Director an NSCA Member? Yes No

If Yes, Please Provide Membership Number:

プログラム責任者はCSCS認定者ですか？

Is the Program Director a CSCS? Yes No

If Yes, Please Provide NSCA Certification Number:

CSCS SPONSOR (if different from the Program Director) 認定プログラム担当主任教員

Name: Title:
Address 1:
Address 2:
City: State: Postal Code: Country:
Phone: Email:

※プログラムディレクターと異なる場合のみ記入してください

担当主任教員はNSCA会員またはNSCAジャパン会員ですか？

Is the CSCS Sponsor an NSCA Member? Yes No

If Yes, Please Provide Membership Number:

NSCA Certification Number:

Does the academic unit which houses the program employ a CSCS in a full-time academic/teaching position?

Yes
 No

担当主任教員はERPプログラム実施校に常勤教職員として雇用されていますか？

⇒“Yes”を選択してください

Note: The CSCS sponsor must be a member of the teaching faculty and must be a full-time employee of the sponsoring institution involved in the educational program as a member of the teaching faculty.

担当主任教員はプログラム担当教官の一員であり、プログラム実施校の常勤教職員でなければなりません。

記入方法 “SECTION III” ① – 専門学校の場合

更新申請の場合にのみご記入いただく欄
ですので、赤枠内のご記入は不要です。

SECTION III

~~Renewal Applications Only (Institutions MUST be currently recognized)~~

~~Has any of the information in Section III changed since your last application?~~

~~Yes~~

~~No~~

~~If “No,” you are not required to complete this section.~~

~~If “Yes,” you are only required to complete the fields necessary to reflect changes since your last application.~~

PROGRAM DESIGN | UNDERGRADUATE STRENGTH AND CONDITIONING

Name of Institution:

学校名

Name of College (within University):

(空欄で結構です)

Name of Department:

学科名、コース名

Name of Major:

専攻名、あるいは空欄で結構です

Name of Track/Specialization:

(空欄で結構です)

Name of Degree Granted:

授与される称号名

Length of program in terms (i.e., semesters, quarters):

学期の制度

In credit hours:

単位数

Total number of students currently enrolled in the program:

申請学部（学科、コース）に登録している学生数

Tuition and fees:

Resident

\$ 授業料*

/credit hour;

Non-Resident

\$ 授業料*

/credit hour

Is an internship or practicum required as part of the curriculum?

Yes

No

必須カリキュラムの一つとして、インターンシップや実習が含まれていますか？ ⇒ “Yes” を選択してください

学期の制度を記入。

○ Semesters: 前期・後期制(2学期制)で、
通常各15週

○ 3 Semesters: 3学期制で、通常各12週

○ Quarters: 4学期制で、通常各10週

下段必須科目リストの単位数の合計
(米国の単位数に換算) を記入。
換算方法は後述。

*授業料:

申請コースの年間の授業料から、
1単位あたりの授業料を換算してご記入ください。
申請時のレートで結構です。

記入方法 “SECTION III” ① – 大学の場合

更新申請の場合にのみご記入いただく欄
ですので、赤枠内のご記入は不要です。

SECTION III

~~Renewal Applications Only (Institutions MUST be currently recognized)~~

~~Has any of the information in Section III changed since your last application?~~

~~Yes~~

~~No~~

~~If "No," you are not required to complete this section.~~

~~If "Yes," you are only required to complete the fields necessary to reflect changes since your last application.~~

PROGRAM DESIGN | UNDERGRADUATE STRENGTH AND CONDITIONING

Name of Institution:

学校名

Name of College (within University):

(空欄で結構です)

Name of Department:

学部名、学科名、

Name of Major:

コース名、専攻名

Name of Track/Specialization:

(空欄で結構です)

Name of Degree Granted:

授与される学位名

Length of program in terms (i.e., semesters, quarters):

学期の制度

In credit hours:

単位数

Total number of students currently enrolled in the program:

申請学部（学科、コース）に登録している学生数

Tuition and fees:

Resident

\$ 授業料*

/credit hour;

Non-Resident

\$ 授業料*

/credit hour

Is an internship or practicum required as part of the curriculum?

Yes

No

必須カリキュラムの一つとして、インターンシップや実習が含まれていますか？ ⇒ “Yes” を選択してください

学期の制度を記入。

○Semesters: 前期・後期制(2学期制)で、
通常各15週

○3 Semesters: 3学期制で、通常各12週

○Quarters: 4学期制で、通常各10週

下段必須科目リストの単位数の合計
(米国の単位数に換算) を記入。
換算方法は後述。

*授業料:

申請コースの年間の授業料から、
1単位あたりの授業料を換算してご記入ください。
申請時のレートで結構です。

記入方法 “SECTION III” ②

以下の必須分野を学ぶ科目名を記入してください。必須内容が複数の科目にわたる場合は、最も多くの内容を学ぶ主要科目のみを記入してください。複数の必須分野に同じ科目名を記入しても構いません。

一覧に記入した科目の現行のシラバスを必ず添付してください。

シラバスには、講義についても、監督下で行われる実習教育についても、学習目標と達成すべき専門能力が明記されていなければなりません。

※当申請書への記入に加えて、学習プログラムの要点を説明するための宣伝広告資料等を添付しても構いません。

Please identify in which courses these content areas are taught. If the content is taught in several courses, please identify only the course(s) in which most of the content is taught. You may list the same course for several content areas.

STUDENTS MUST RECEIVE FORMAL INSTRUCTION IN THE FOLLOWING CONTENT MATTER AREAS:

REQUIRED CONTENT	COURSE NAME(S)	COURSE #(s)	HOURS
必須科目	科目名	科目番号	単位数
Human Biology			
Exercise Physiology			
Kinesiology/Biomechanics			
Nutrition (Sports Nutrition is preferred)			
Scientific Principles of Strength and Conditioning			
Resistance Training and Conditioning (Activity Class)			
Exercise Technique/Exercise Prescription w/ Emphasis in Anaerobic Exercise			
Program Design as Related to Strength and Conditioning			

単位数は、米国の単位数に換算してください。
 米国では、1時間の授業12回で1単位としていまして、
 1時間×12週=1Credit Hour (1単位) となります。

日本では、多くの学校が採用しているsemester (前期・後期制) かつ90分授業の場合、
 1.5時間×15週=22.5時間となりますので、
 授業時間 (22.5時間) を米国の1単位授業時間 (12時間) で割ると、
 $22.5 \div 12 = 1.875$ となり、小数第2位を四捨五入すると1.9となります。
 したがって、90分授業を15回行う場合の単位数は、1.9Credit Hours となります。

例) 授業時間30時間の場合は、 $30 \div 12 = 2.5$ Credit Hours
 授業時間60時間の場合は、 $60 \div 12 = 5.0$ Credit Hours

****YOU MUST ATTACH A CURRENT SYLLABUS DESCRIBING LEARNING OBJECTIVES AND COMPETENCIES TO BE ACHIEVED FOR BOTH DIDACTIC AND SUPERVISED PRACTICAL EDUCATION COMPONENTS, FOR EACH COURSE IDENTIFIED ABOVE ****

(You may attach any promotional materials or advertising materials that outline the program of study, in addition to completing this application.)

記入方法 “SECTION IV”

SECTION IV

PROGRAM REQUIREMENTS | UNDERGRADUATE STRENGTH AND CONDITIONING

- It is the responsibility of the institution (Program Director, Chairperson, and CSCS Sponsor) to notify the NSCA of any changes in the program or in personnel during the period of recognition.
- The sequencing and availability of courses in each of the subject matter areas listed in Section III should be made available to the students.
- The subject matter should be instructed, evaluated, and instructional effectiveness should be assessed on a regular basis.
- Program personnel must ensure that the objectives, content, and activities stated in the curriculum represent current concepts and practices.
- Instruction should follow a plan which documents appropriate learning experiences and curriculum sequencing to develop the competencies necessary for graduation, including appropriate instructional materials, classroom presentations, discussions, demonstrations, and supervised practical experience.
- Faculty members responsible for teaching should be qualified through professional preparation and experience.
- The strength and conditioning curriculum should be developed and delivered under the direct supervision of qualified personnel.
- By signing below, all parties testify that the information provided in this application is true and correct to the best of their knowledge. Original signatures are required.

署名欄は、**電子署名**を付与してください

プログラムディレクターとプログラム担当主任教員を、同一の方が務めていらっしゃる場合も、それぞれの欄に電子署名を付与してください。

学部長または学科長	Louie Simmons	9/7/2022
Department Chairperson (or Dean)		Date
プログラムディレクター	Mark Bell	9/7/2022
Program Director		Date
プログラム担当主任教員	Dan Green	9/7/2022
CSCS Sponsor		Date

日付は **月/日/年** の順にご記入ください。

申請料

NSCAジャパン申請料：1校あたり ¥16,500（税込）

米国NSCA ERP申請料：1プログラム \$ 500.00

複数のERPを申請する場合は、2つ目以降のプログラムの申請料は5%割引されます。

CSCSとNSCA-CPT、2つのERPを申請する場合

1つ目のプログラム申請料：\$500.00

2つ目のプログラム申請料：\$475.00

申請書類を提出後、申請料の振込についてご案内いたします。

認定審査①

NSCAジャパンによる認定校審査に合格した後、米国NSCAがNSCA ERP申請書類を審査します。

○ERP審査に合格した場合

NSCAジャパン賛助会員の入会手続きを行ってください。

- ・ 賛助会員年会費¥55,000（1年分、税込）
- ・ NSCAジャパン認定校としての認定を維持するためには、継続してNSCAジャパン賛助会員であることが必要です。

ERP認定を受けた学校が、NSCAジャパン賛助会員になった時点で、NSCAジャパン認定校として認定いたします。

1. 米国NSCAよりERP認定証が発行されます。
2. NSCAジャパンよりNSCAジャパン認定校認定証を発行いたします。
3. NSCAジャパン認定校有効期間およびERP有効期間は3年間です。

認定審査②

○ERP審査で不合格となった場合

米国NSCAより却下理由、申請料の一部が返却されます。

申請料返金額：

- ・ 米国NSCA：各プログラム申請料から\$ 100.00を引いた金額
- ・ NSCAジャパン：申請料から手数料¥5,500円および送金手数料¥550を引いた金額（¥10,450）

申請書類の提出

申請書類提出期間

2023年8月1日（月）～9月30日（金）必着

お問合せ／申請書類送付先

特定非営利活動法人NSCAジャパン 認定校担当宛

Email : erp@nsca-japan.or.jp

〒270-0152 千葉県流山市前平井85

TEL : 04-7197-2064 (11:00～15:00)

